

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《「医療区分の変動状況に関する分析」》

＜分析方法＞

レセプト調査において収集した 2,980 件のレセプト(平成21年1月診療分)のうち、2,026 件に「医療区分・ADL区分に係る評価票」が添付されていた。このうち、病院単位に無作為に抽出した 560 件(抽出率 27.6%)について、暦月内における医療区分の変動状況を集計した。

■レセプト算定延べ日数に基づく医療区分と特定日(1月15日)時点における医療区分の比較
(図表1)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3
暦月内におけるレセプト算定延べ日数に基づく医療区分構成比%	18.7%	56.5%	24.8%
暦月内の特定日(1月15日)時点の医療区分構成比%	19.1%	56.7%	24.2%

■暦月内における医療区分の変動状況(参考:21. 8. 10 慢性期入院医療の包括評価調査分科会「慢-2-2」より)

(図表2)

患者の状況		医療区分	
		件数	評価票件数に占める割合%
新規入院(転入含む)		81 件	14.5%
当該病棟での変化	区分不変	372 件	66.4%
	区分変化あり	74 件	13.2%
	(内訳)区分重度化延べ件数	152 件	—
	(内訳)区分軽度化延べ件数	160 件	—
退院・転棟(退棟)・死亡		47 件	8.4%
評価票件数		560 件	—

※暦月内において入院後、退院・転棟・死亡した場合の件数が「新規入院」と「退院・転棟(退棟)・死亡」に重複計上されている(14件)。

※「区分不変」とは、暦月内において医療区分の変化が無かった件数。

※「区分変化あり」とは、暦月内において医療区分が変化した件数。

※「区分重度化延べ件数」とは、医療区分が変化した件数のうち、医療区分が重度化した延べ件数。

医療区分:医療区分1→2、医療区分1→3、医療区分2→3”

※「区分軽度化延べ件数」とは、医療区分が変化した件数のうち、医療区分が軽度化した延べ件数。

医療区分:医療区分3→2、医療区分3→1、医療区分2→1”

※暦月内において、医療区分が2回以上変化した場合には、「区分重度化延べ件数」又は「区分軽度化延べ件数」に重複計上される。

■ 暦月内の区分変化患者における重度化・軽度化件数の状況(再掲)

(図表3)

	件数	「区分変化にあり」件数に対する倍率
区分変化あり	74 件	-
(内訳)区分重度化延べ件数	152 件	2.1
(内訳)区分軽度化延べ件数	160 件	2.2